

放課後等デイサービス事業自己評価表

公表:令和3年3月29日

事業所名 放課後等デイサービス はるるん

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1 利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○			児童の特性や相性を考え、施設内の部屋も活用して活動を分散している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			定員に対して適切な配置数は確保しているが、男性職員が少なく同性での支援が来ていない。
	3 事業所等の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○	駐車場からデイルームまでに距離があり、階段もある為、必要に応じて職員が補助に入っている。
業務改善	4 業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		多忙な時期は意思疎通が不十分な時もあるが、引継ぎノートや療育ノートを準備して、情報を共有している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施を行い、保護者の要望や意見を把握して業務改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所のホームページにて公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部からの評価を受けることが出来るように、今後、検討を行っていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	外部研修や法人内の研修に参加しているが、コロナ禍で外部研修が少なく、参加出来ない。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			成長と共に課題が変化する為、定期的にアセスメントを行い、保護者の方にも意見を伺い、作成をしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			当事業所独自のアセスメント表を活用している。活動では必要のない部分(入浴等)もあるが、生活面全体を考慮したものである。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			1日利用時は活動計画を作成している。月毎に担当を決めているが、他職員の意見やアイデアも聞くようにしている。
	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか			○	コロナ禍の為、活動を制限せざるを得なかった。工夫をしながらも工作中心の活動が多かった。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			休校日は運動や課題に取り組んでいる。今年度より平日の限られた時間でも、課題に取り組めるように小グループの療育に取り組んでいる。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			成長と共に課題が変化する為、定期的にアセスメントを行い、保護者の方にも意見を伺い、作成している。全体活動や小グループ活動にも反映させている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			利用開始前に前日の状況確認等は行っている。また、日々の日誌等で前日にどのような事が起きたのか確認出来るようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	当日に、振り返ることは出来ていないが、翌日の利用前に状況確認等を行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、記録を残し、支援状況の確認や改善に繋げている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必然性を判断しているか	○			半年に1回はモニタリングを行い、サービス内容の見直しを行っている。小グループ療育の状況も反映させている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているのか	○			ガイドラインに沿うように支援を行っている。しかし、全職員の共通認識を持てるように資料を配布する等して意識を高める。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が会議に参加する事が多いが、出来るだけ状態を把握している職員が会議に参加よう努めている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		毎日の送迎時に担任の先生と情報交換・共有を行っている。しかし、学校によっては連携の度合いに差がある為、こちらから細めに連絡を取るようになっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在該当するケースなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		同法人の児童発達支援事業から移行する児童は、情報共有している。その他の児童は保育所等に訪問し情報を向っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		次の事業所への移行前に情報提供したり、移行後も支援方法を助言している。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	同法人に発達障がい者支援センターがあるので、支援状況を見てもらったり、助言を受けたりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ禍の為、実施していない。今後検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		広川町障がい者自立支援協議会子ども支援部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日頃から保護者の方との会話を大事にしており、子どもの状況や課題を共有するように努めている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているのか		○	保護者向けの研修を開催していたが、コロナ禍の為、実施出来ていない。今後実施する方向で検討する。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に運営規定や支援内容、利用者負担について説明を行っている。また、制度が変更になる度に、書類を作成し説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育てに限らず相談があれば、どのような悩みも、その都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	不定期に保護者意見交換会を行い、年1回懇親会を実施している。しかし、コロナ禍の為、実施出来ていない。今後実施する方向で検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を立てており、苦情や要望等にはその都度、対応している。24時間連絡が出来るようにメール等の受付も行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページやまい、ぶれ(地域情報サイト)で活動内容を発信している。月に2回は更新を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に個人情報の取り扱いについて説明をしている。ホームページへの写真掲載可否等の細かな確認も行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日頃からどんな事でも話が出来る雰囲気作りに努めており、24時間体制でメールの受付も行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍の為、地域住民を招待するような行事は行っていない。今後検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		インフルエンザや嘔吐下痢等の感染症に関するマニュアルは掲示している。また、設備や体制等のマニュアルは整えている。特に今年度は新型コロナウイルスの流行や多くの自然災害(台風、豪雨、大雪)が発生した為、前日や当日に細めに保護者の方と連絡を取り合い、臨機応変な対応を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出やその他必要な訓練を行っているか	○		法人全体で定期的に避難訓練を行っている。また、当事業所独自でも避難訓練も実施している。実施内容は、まいづれ(地域情報サイト)にて発信している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内の研修に参加している。また、法人内に権利擁護係を設置している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束は行っていないが、他害行為のある方もいるので、その際は他児童と引き離す為に抑えるような形で個室へ誘導している。保護者の方に状況の詳細にお伝えするようにしている。現在、身体拘束が必要な児童はいないが、今後そういった児童と契約を行う際は個別支援計画にも記載をする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約の際にアセスメントを取って食物アレルギーの有無を確認して対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	法人内にリスク係があり、ヒヤリハット報告書を作成して、情報共有する。